

2022.8.1 NO.135 市民は！議会だて

2022.8.1
NO.135
発行／由良町議会 発行責任者／議長 中村眞一
編集／議会広報編集委員会
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL:0738(65)1100 FAX:0738(65)0226



6月 定例会

議案質疑 p2～p3
委員会視察 p4
一般質問 p5～p11
地域おこし協力隊 p12

元気が
暑くを乗り切ろう!!



令和4年
6月定例会
6月7日~10日

令和4年度一般会計補正予算
エールクーポン・ウクチン接種事業など
7930万円増額、総額42億3830万円に

令和4年6月定例会は、6月7日から6月10日までの4日間の会期で開かれました。報告7件、条例一部改正2件、人事2件、補正予算1件、すべて承認、同意、可決しました。一般質問は、7名の議員が登壇しました。

エールクーポン事業5750万円

問 今回のエールクーポン事業について、配布方法、クーポンにした理由、使用期間は、

答 今回のエールクーポン事業は、世帯主に送付します。目的は町内の経済を循環させるため、今回は共通券500円券を20枚配布します。使用期間は8月1日から11月30日までで、対象者は7月1日現在で由良町に住民登録されている方です。

総務政策課
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使いエールクーポン事業を行います。前回同様レターパック



議会録画映像(DVD)の貸出しについて



由良町議会では、開かれた議会を目指し、議会広報の充実の一環として、ケーブルテレビで放映した本会議映像の録画DVD(一般質問のみ)の貸出しを行っています。本会議の様様をご自宅などでご覧いただけますので、ぜひ、ご利用ください。詳しくは、由良町議会事務局(Tel.65-1100)までお問合せください。

議案質疑

補正予算

議案質疑

行政視察

一般質問

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業
3,000万円

問

この事業の内容は、また、対象者は

答

住民福祉課

この給付金は住民税非課税の子育て世帯で18歳未満の子ども1人あたり5万円が支給され、対象は50世帯ぐらゐで70人を見込んでいます。対象者の詳細は以下のとおりです。

- ① 児童扶養手当受給者
- ② ①以外の令和4年分の住民税均等割が非課税の子育て世帯。

対象年齢18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間の児童。

中学生までは児童手当で口座等を把握していますが、高校生については申請が必要となります。



令和3年度一般会計繰越駅前公衆トイレ整備事業
2,990万円

問

由良駅前公衆トイレ設置場所に柵ができていますが工事が始まっていますか。進捗状況は。

答

地域整備課

JR西日本と協議し、4月14日に業者と請負契約しました。

6月初めに倉庫を撤去し、下旬くらいから工事に着手する予定です。

財政調整基金増額
2億8,200万円

問

財政調整基金が増額されているが、増額できた理由、また令和3年度中に使用できなかった理由について説明を。

答

総務政策課

歳入において、普通交付税と特別交付税を合わせ約2億5,000万円増額され、歳出においても約3,000万円の減額が生じたため積み増すことができました。

また、他町に比べ財政的に厳しいため基金として積み増しました。

今後は老朽化した建物や道路その他に活用し、最小限の経費で最大限の効果を生むべく努力します。

財政調整基金

年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金。財源がある年度に積み立てておき、財源不足が生じた年度に活用する。市町村の貯金と言えるものです。

人事

人権擁護委員任期満了に伴い

相原 利江子 氏
(吹井)

を適任と決定しました。

人権擁護委員任期満了に伴い

下端 弘彦 氏
(三尾川)

を適任と決定しました。

令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書
3億1,610万円

問

すべての分野で繰越しがありますか、土木費について工事関係の資材、人件費の値上がりによる変更はないのか。

答

地域整備課

工事関係の繰越については、長期の工事はありませんでしたので、労務費、資材費の上昇に伴うスライド条項を適用した工事の変更はありません。

よって金額の増加なしで事業は執行できます。

行政視察 産建厚生常任委員会

産建厚生常任委員会は、4月20日に町内の工事箇所を視察。
7月7日に町内の企業訪問を行いました。

町内工事箇所視察 4月20日



海洋公園落石防止ネット



大引地内の町道新設



中地内の町道拡幅



只越配水池新設

企業訪問 7月7日 MES由良ドック株式会社



説明・質疑応答



LNG輸送船



LNG輸送船



LNGタンクのポンプ修理工場新設

山口社長 「現在、仕事量が多く人材も増やしたい。
来年で操業50周年、これからも地域社会に貢献していきます。」

補正予算

議案質疑

行政視察

一般質問



三上 幸夫 議員

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は7名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下、その内容を要約してお知らせします。

小学校統合の検討委員会の答申への対応は

統合の準備調整を図る

問 学校教育環境在り方検討委員会の

答申の各項目

1 地域の合意形成に努める

2 校舎整備や通学等の諸条件の整備、安心・安全な学校づくり

3 地域と結びついた魅力的で特色ある学校づくり

4 教職員の配置等の人的な整備・充実への配慮

5 安定した学校運営のための体制の強化

6 こども園、小・中学校の連続性を意識し、包括的に町の子供の学びと育ちを支援

7 行政の関連部署との情報交換を密に行い、

町の将来ビジョン全体の中で学校教育の意義を明確にする

8 廃校跡地利用に関して、地域住民の意思を尊重した有意義な活用方法を検討

これら各項目に具体的にどう対応しているのか。



答 町長

1 昨年4月から各小学校のPTAや区長

会等の多様な構成員からなる小学校統合推進委員会において、積極的な意見交換をしていただき、

統合の準備、調整を図っています。

2 委員会において既存の校舎の活用が決定し、夏休みに教室の整備や改修等が行われます。

3 通学については、バスの発着場の整備を行うとともに、由良中学校通学バスのルートや停留所を使用する予定で、通学時間の検証を行っています。

4 避難場所については、小学校でJA紀州選果場裏の高台を想定し、学期に1回避難訓練を実施しています。

5 キャリア・ふるさと教育を軸にした小中一貫教育を進めていくとの報告を受けているので、教

育委員会と連携しながら関わっていきたいと考えています。

4 現在、町が会計年度任用職員として、任用している学習支援員や学校司書の適正な人的配置を行います。

5 教育委員会と連携し、地域や保護者の声を聞きながら、安定した学校運営ができるよう支援していきます。

6 こども園、小学校、中学校の連続性を意識し、包括的に町の子供の学びと育ちを支援することについて、今までの子育ての施策に加え、今年度から家庭教育支援チームが立ち上がり、幼児から中学生までの子供を持つ家庭の子育て支援を継続的に行います。

7 行政の関連部署との情報交換を密に行い、町の将来ビジョン全体の中で学校教育の意義を明確

にすることについて、由良町小学校統合推進委員会に町長部局より副町長、総務政策課長、地域整備課長がメンバーとして入っており、予算の確保や情報提供等の役割を担っています。

将来を見すえた中間答申も出されており、避難所の整備や新校舎建設も項目に入っています。

8 衣奈小・白崎小の校舎、体育館、運動場等については、地区懇談会において、地域住民の方々の意見を伺いたいと考えています。

3 キャリア・ふるさと教育を軸にした小中一貫教育を進めていくとの報告を受けているので、教

育委員会と連携しながら関わっていきたいと考えています。

質 問



森 三枝子 議員

補正予算

議案質疑

行政視察

一般質問

安心・安全に暮らすために

調査を行い対応

問

町内も外灯の見直しで明るくなりつつありますが、まだまだ暗いと思われる箇所がたくさんあります。その中でも特に、要望が多いのが斎場の駐車場です。

私のところにも「町の施設でもある斎場の駐車場が非常に暗く何とかありませんか」との町民の声が多数寄せられています。

私も何度か斎場の駐車場に車を止めましたが、月明かりもなく、真っ暗でした。

今のところ、暗さによる事故の発生は聞いていませんが、町の施設でもあり、何らかの対策が必要と考えますので、町の

考え方は。

町長

答

斎場の駐車場の外灯が暗いというご質問ですが、斎場側から数えて2段目、3段目の駐車場には、外灯は今のところ設置していませんが、予算の関係もありますので、調査を行い必要性の是非をよく考え対応していきたいと思っております。

今後のコロナ対策について

4回目接種を開始

問

県内でも5月末で100人前後の新型コロナウイルス感染

新型が発生し、いまだ感染者の収束が見えない状況です。

ニュースでは、60歳以上の方と、18歳以上で基礎疾患を有する方を対象として4回目のワクチン接種が始まると報じられていました。

いろいろな方に聞きまして、ワクチン接種は接種回数を重ねるごとに副反応も強くなっていると聞きます。

死亡者の年齢を見ますと、高齢者の方がよく亡くなっています。それを考えれば、4回目のワクチン接種をしたほうがよ

いと思いますが、副反応が怖いという状況かと思

います。

また、町内でも子供たちの感染者が発生している

と聞きます。今年のコロナ対策について、どのような日程でワクチン接種をするのか、またワクチン接種による副反応についての情報等がありましたらお聞かせください。

答

町長

4回目接種の日程ですが、集団接種は7月16日から、個別接種は8月1日から開始予定です。4回目の接種券は6月下旬から3回目接種を終了された方から順次発送する予定です。4回目の接種の対象者は60歳以



上の方、18歳以上で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方となります。60歳未満の方の予約時には由良町コロナウイルスワクチンコールセンターの担当者が必ず基礎疾患の有無を確認いたします。次に副反応については、1回目、2回目接種と同様、注射した部位の痛み、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛や関節の痛みの症状が現われることがあります。

般

猿追い払いは喫緊の課題だ

全庁的な取組として対応する

問 現在、畑地区、中地区において、

去年も出没し、いたずらに手をやいた猿が、春先から出没し、今回は前にも増し、人間に対し牙で威嚇するまでになっています。

女性の方、子供、老人では場合によっては、身に危険を及ぼす恐れも出ています。被害の方も車のワイパー破損ばかりでなく、洗濯物の持ち去り、野菜の食害等が主ですが、お寺の石仏の倒壊、ほこらの瓦の破損等もありました。

今回問題にしている点は猿が人に対し牙で威嚇するまでになっており、近い将来、けが人が発生

しないかが、一番心配する点です。

獣害対策の専門の方に聞いた話ですが、猿に出会うことがあれば、里においてこないよう追い払うことが一番の方法のことです。

去年の例ですが、ごとも園周辺に出没していた猿が追い払いにより、来なくなり、その内、畑地内、中区から姿を一時見せなくなりました。このことから猿に対し、専断的に追い払いを行う方があれば、来なくなる確率が高くなるのが考えられます。

地区住民が工夫し、追い払いをする方法を見つけていることが重要と考えま

ですが、今までは獣害は農業関係となっており、その方策に対し、いろいろな支援があります。

今回は獣害でも住民に対する安心安全をどのように考えるかの案件です。自治体の仕事の中に住民の安全確保があると思

います。先に述べましたように去年初めてごとも園で教育課が獣害追い払いを実施したと思います。子供も家に帰れば住民

の安全確保があると思

町長

畑区、中区で相

次いでいる猿による住環境への被害に対応するため、由良町鳥獣被害防止計画に基づき、産業振興課を担当課とし、猿の出没状況、被害状況等について、情報収集に努めます。

また、担当課のみでは機動的な対応が困難であると考えられるため、全庁的な取組として対応していきます。

今後は、地元自治会と連携を図りつつ、日高振興局や御坊警察署の関係機関とも協議を進めながら対応策を検討したいと考えています。

地域が一体となって取り組む追い払い等の活動に対する支援については、必要な手立てを検討します。



質 問



三好 章五 議員

補正予算

議案質疑

行政視察

一般質問

南海トラフ巨大地震に備え 目に見える具体的な対策は

実効性のある津波対策を講じる

問 南海トラフ巨大地震で、それぞれの地区の避難場所までの避難路が確保・整備され、また一時避難場所としての役割が果たせるように具体的に整備されているか。

答 各区のワークシヨップで話し合われた内容などを検討し、実施するかどうかは結論に至っていない。今後、地域の皆さんの意見等も聞きながら、より安心・安全に避難できる方法を検討していきます。

問 現在、役場内で危機管理担当はどの課なのか。

答 現在、総務政策課が危機管理の担当となります。

問 また、由良小学校周辺の避難場所については、横浜区の北山の一時避難場所の充実整備などを検討しています。

答 現在、どのようになっているか、また、そのチームから国道42号線の里トンネル手前の提案もあったので、検討していきたい。

問 津波は最速で24分、由良町に到達すると言われていますが、由良小学校から避難するまでの時間について、教育長は、地震が発生して運動場に集合するのに3分程度、点呼して移動するのに5分程度で十数分あれば避難できると言われてきましたが、多くの方が納得していませんでした。現在もこの避難マニュアル通りの全体時間に変わりはないか。

答 避難時間の想定ですが、教室から出てグラウンドで避難準備が整うまで8分、選果場裏までは10分の合計18分です。

問 町長は色々な意見を取り入れて実行できるように努めていきたい。由良町民の誰一人の命も奪われたくないという強い思いで避難対策を進めていく。そのためには議員各位の様々な意見も聞き共に頑張っていく、との答弁でした。いつ頃を目途に意見交換をされるのか。

答 6月13日から8月中旬まで町政懇談会を行い、住民の方々から一時避難場所や避難対策等についても意見をいただき、まとめた上で、議員各位との意見交換会を10月頃に行いたい。



般

各種証明書等のコンビニ交付を利用可能に

費用対効果を検討

問 市区町村が発行する住民票等の各種証明書をコンビニで発行するサービス、これにより、急ぎの場合や、町外勤務でなかなか役場へ来られない方も交付が受けられ、利便性が向上し、窓口業務の効率化という利点も生まれます。

私自身の経験ですが、休日で証明書を早く手に入れたく、このコンビニ交付を受けようとしたが、何度やっても出てきません。調べてみると由良町の証明書は交付できないということでした。利用できる自治体も結構あり、全国で947、和歌山県では12の市町でしたが、由良町は現在申請しているのかどうか。していないとしたら現在検討中なのか。また、詳しく検討はしたが見送るということにしたのか。その場合の見送りの理由は。

答 町長 当町はコンビニ交付の申請は行っておりません。検討したところ、コストがかかることから見送りました。

交付を実施した自治体に確認をしたところ、システムの構築、改修などで約800万円、毎年の運営負担金として約70万円、システム保守委託料約40万円、事業者への委託手数料1通117円が必要で、コンビニ発行数が

が年間約600通という1通当たり2,000円も各地区へ職員が出向いて行う出張申請を各区分の皆さんにも周知しています。

マイナンバーカードの普及のためのPRを積極的に

取得の促進に努める

問 マイナンバーカードの普及のため「お得感」これをアピールできれば普及率は高まるのではないかと、マイナポイントのPRを積極的に行う予定があるかどうか、キャッシュレス利用方法などをお教えしてはどうか。また、現時点での普及状況と今後の普及のためのPRの予定は。

答 町長 マイナポイントのPRについては、新聞、テレビで報道され、役場からは広報を通じてPRは行っています。役場へ来庁して申請をしなくても、また、参議院選挙の期日前投票時に合わせて、平日の夜間申請窓口の開庁、休日の申請窓口開庁を実施する予定です。なお、マイナンバーカードを窓口で受け取る際には、ポイントのチャージの方法等をお伝えしています。5月末時点での当町の申請件数は2,648件で、住民基本台帳人口に対する申請率としては、47.9%となっています。県全体が46.5%、全国では52.1%となっております。

マイナポイントを受け取るためには、カードを9月30日までに申し込む必要がありますので、期間内に住民の皆様のマイナンバーカード取得の促進に努めていきます。



中谷 茂生 議員

質 問



川出 純 議員

補正予算

議案質疑

行政視察

一般質問

興国寺に関するシンポジウムの行事の企画を

開催の意義・価値を検討

問

NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』が毎週日曜日放映されていることを受け、観光の町として由良町を売り出すチャンスと考えました。鎌倉三代将軍源実朝が暗殺された報を受けた実朝の近習（主君のそばに使える者）であった葛山景倫は主君の菩提を弔うため出家し由良の地に西方寺を創建したものであり、後に法燈国師を招き、これが興国寺となったということですか。

興国寺については故大野治氏の生涯のテーマとして研究され、業績は由良町の文化的財産と考えます。その業績に応えるためにも、例えば「鎌倉

答

教育長

シンポジウムな

どの行事企画については、多くの方々が参加していただいでこそ意義のあるものと考えます。このテーマについてどの程度ニーズがあるか、シンポジウムを開催するに値する歴史的な価値があるかなども含めて検討する必要があります。こうしたことから、より多くのの方に、関心を持っていただくため、広報誌などを通じて興国寺の歴史を紹介していきたいと考えています。

町内には興国寺関係のみならず、先人たちが守り伝えてこられたすばらしい歴史と文化財が数多くあります。それらを後

世に継承していくため、文化財保護審議会や関係機関と連携しながら、文化財行政を進めていきます。

畑・中区の猿被害についての要望と提案

全庁的に取り組む

問

今年も猿による被害が頻発している。車のワイパー被害、郵便物被害、女性への追

答

町長

畑・中区の住環境への被害に対応するため、令和元年度作成の「由良町鳥獣被害防止計画」に基づき、まず猿の出没状況等について地域住民からの通報や目撃情報を

い回しなどが多発し、幼児、小・中・高校生への危害の心配の声も上がっている。早急に畑・中区での猿被害の調査を行う必要があるのではないかと。子ども園への出没状況やその対策、通学バスの子

ども園への出没状況やその対策、通学バスの子

答

教育課

子ども園の対策



は、昨年は町職員で、その後はシルバー人材センターと会計年度任用職員で10月から12月に対応してきた。冬季は出没していません。現在、小学生の登下校時の見守り対策はすでに全庁的に取り組んでいます。登校時は由良小学校の職員が、下校時は教育課と産業振興課の職員が見守り対策を行っています。今後抜本的な対策も考えながら喫緊の課題にはこのように対応していきます。

般

統合後、安全安心なバス通学状況を

関係者等と話をしながら今後を探っていききたい

問

来々3月、町内3小学校が統合されます。

現在、畑・中地区の子供達がバス通学している状況から、来々年度からは白崎地区・衣奈地区のバス通学の児童が増え、また、通学バスの台数も多くなります。

答

教育長

バス会社との協議において、小学校校門付近の町道は、車両の対向が困難であるとの理由から、バスの停車はできないと判断しており、

早急に町独自の「不妊治療助成金」の構築を

皆さんの意見を聞いてまとめていききたい

問

今年4月1日から健康保険で「不妊治療」適用の拡大が開始されました。和歌山県内の「特定不妊治療費助成」に対して、町独自の「上乗せ助成事業を設け、県内の29市町村と比較しても負担割合等について一定の条件があるにしても「上限なし・全額公費負担」で、全国的にもトップクラスの助成があり、ご夫婦で不妊治療を受診されていきました。この独自の由良町の施策は、畑中町政から山名町政に引き継がれても実施され、今年3月31日まで行ってきました。

答

町長

今年4月1日か成が100点としたら、4月以降は何点か。今後より一層、「産み育てやすい由良町」をさらに実現するためにも、「治療助成金」を早急に構築すべきではないか。

答

町長

今までの不妊治療に対する助成を100点とすると、4月以降は50点というふうを考えています。

問

安全安心を考えると、登下校の時間帯だけ道路使用の制限を設け、由良小学校校門前付近の町道にバス停車をできるように考えるべきではないか。

答

教育長

本年度も統合推進委員会を再開し、通学についても状況が変われば、関係者等と話をしながら、今後を探っていききたい。

現在、随時開催している「町政懇談会」などで地区住民の方の話を聞いてみたい。

答

住民福祉課

今年4月からの保険適用のメリット・デメリットは、そして、3月末までの由良町の不妊治療助成は、標準的に一律医療

が受診できることで、保険適用外であった場合、高額医療制度も利用でき、限度額がありますが一律の医療が受けられることです。



玉置 一郎 議員

今、由良町で活動中の

地域おこし協力隊

の4名に聞きました



現在地域おこし協力隊員として由良町で活動中の4名の隊員に応募のきっかけや由良の印象、活動内容などを聞きました。

江村 哲也 隊員 (49)

大阪府和泉市 (生まれ滋賀県高島市) 出身 今年2月着任

去年、ムラ暮らしインターンという、由良早生の収穫体験イベントに参加したのがきっかけで、大阪に長年住んでいながら、由良町に来たことがなく海、山、観光と魅力の多い場所と感じました。

また、人口減少、後継者不足等の問題を目の当たりにして、自らがそれらの問題解決になれる存在になりたいと強く感じ、応募しました。現在の主な活動：観光促進事業 (教育旅行受入業務等)

武田 青空 隊員 (20) 大阪市此花区出身 去年4月着任

着任から1年経って、みかん農家での業務を通じて、多くの事を学ぶことができました。今後自立に向けたビジョンが明確になったので、この先も由良町で過ごしていきたい。

鈴木 亮哉 隊員 (24) 愛知県日進市出身 今年4月着任

大学の専攻は観光学で、和歌山県主催のウェブミーティングで由良町が求めている協力隊の募集内容と合致しました。

由良は、祖父母故郷の田舎と似ていて、プラスイメージを持っています。現在の主な活動：空き家案内、移住定住促進

大貫 凌 隊員 (24) 神奈川県藤沢市出身 今年4月着任

和歌山県主催のウェブミーティングに参加し、担当者の熱意を感じて由良町に応募しました。

田舎ぐらしは、今まで経験出来なかったことが多く、プラスイメージです。現在の主な活動：PROJECT 24 (由良町・日高町・美浜町の3町観光連携プロジェクト) のひまわり畑を利用した観光促進事業

編集後記

6月から猛暑日が続くなど、暑い夏です。コロナ対策、熱中症対策に加えて節電も必要となっています。

6月議会で予算化されたエールクーポン事業で1人に1万円分の商品券が配布されます。

いろいろなものが値上がりする中、消費の拡大で、町内経済の活性化につながるよう、有効に利用したいものです。

議会広報編集委員会

委員長 中谷 茂生
副委員長 三上 幸夫

三好 章五
山本 大
吉田ひとみ
川出 純
野田 悟